拠点

拠点６　清瀬市子どもの発達支援・交流センター

１．事業概況（運営方針・目標の実施状況）

１）基本理念・運営方針

清瀬市子どもの発達支援・交流センターは、「地域と連携・交流しながら地域にくらす親子をささえる」を基本理念として、法人が長年にわたり培ってきた実績に基づく理念「受容的交流」や、現スーパービジョン体制の下に心身の発達に遅れやかたよりのある子ども、さらに社会生活上何らかの問題を持つも子どもの相談･訓練指導を通して成長･発達を援助し、地域での育ちを支えることを目的とし運営を行った。

また､対象となる本人や家族だけではなく､その方を取り巻く関係者への支援をする等、環境を整えることで安心・安全に過ごせる環境調整をはかってきた。相談・療育・支援の場の提供だけではなく､地域の支援力の向上に努めることで地域療育の拠点となることを目指し、地域活動にも積極的に参加をしながら連携に努めた。

基本方針を以下の通りとし、各事業に取り組んだ。

① 誰もが利用しやすいセンターを目指す。
② 複数の専門家によるチームアプローチにより一人ひとりの子どもに応じた支援を展開する。
③ 各種機関の連携の核となり、地域に開かれた地域療育の核となることを目指す。
④ 家族の不安や負担を軽減し、家族が適切に子ども接し子育てがきるようにするための家族支援を行う。
⑤ 地域の人材育成、支援力の向上に寄与することをめざす。

２）各事業について　　ｲ年度の事業計画、上記の基本方針と照らし合わせて実施状況を報告する。

○相談支援の充実・強化

ｲ年度は新規相談件数は 鬱 ｲ件で　　年度 鬱彷件とほぼ同様の件数であった。特別支援教室利用を目的に知能検査の実施を主訴とした相談は多い。しかし単純に「入室のため」だけでなく学校としては検査をきっかけに必要な支援につなげる糸口としたい意図があったり、本人の自己理解につなげるなどの必要性を持ってセンターにつながっている。心理士、言語聴覚士などの専門性を持った職員がかかわることで多角的なアセスメントが展開できる基盤をとことこでは整えている。

アセスメントした内容や今後必要であろう支援については、保護者に丁寧に説明すること

はもちろん社会資源を有効に使うことのハードルを下げていけるように関わっている。

「センター機能」の充実に向けて、今まで継続してきた保育士や幼稚園教諭に向けた研修の他に保育園の保護者会の時間帯に保護者向けの「子どもの育ち」の内容で親子のコミュニケーションを絡めた話をする機会を２回ほどいただけた。とことこへの相談につながる前段階での対応力を考えてもらう機会となった。

近年、子どもの相談を受けるにあたって環境としての家族を考えていく必要があるケースが増えている。とことこだけで抱え込まずに、他機関（子ども家庭センター、所属園、所属校）との連携にどうつなげ、より良い支援にしていくかを考えてきたが、今後の課題でもある。

○療育体制の充実

職員のスキルアップを目指し、相談・療育・巡回などで経験のある職員の陪席の時間が確保できる体制を整えた。また「ケース会義」を月　回行うことでセンター内の相談の理解につなげたいと考えた。ケースをあげることのハードルが高くならないよう親担当とのアセスメントや支援の方向性について一緒に悩みどころをさぐることで“聞いてみよう”につなげてきた。

○家族支援の充実

療育内容の報告、保護者相談として年に 鬱～　回の経過報告を行っている。もちろん必要に応じて随時保護者との面談を子ども担当、親担当で行っている。

保護者支援としてペアレントグループを継続した。通園の保護者グループ、鬱年生 Gr．の保護者グループ、通所している年中・年長の保護者グループの　グループで行った。所属園やママ友に我が子のことを話してもなかなか理解してもらえない、そうした思いや、心配事、困り感を持っているのは自分だけではないという孤独感を軽減できる場となっている。同時にどう対応すると親子ともにストレスなく過ごすことができるのか、といったことを話し合い自らが気付く場になっている。

＊ペアレントグループ　　参加者：下記

一般保護者対象

鬮鬱月　日　名　鬱月 鬱他日　名

鬱年生グループ保護者対象

鬱 月　日 鬱名　鬮鬱月 鬱 日 鬱名　鬮鬱月　日　名

通園利用者保護者対象

鬱 月 鬱 日　名　鬮鬱月 鬱 日　名　鬱 月 鬱 日　名

＊保護者交流会（通園）　　彷月　彷日　参加者：　名　先輩保護者：　名

＊保護者会

通園利用者保護者

月　彷日 麕名　　麕月 彫 日～彫 日（とこリンピック期間）彫 名

月 彫 日 他名

麕年生グループ保護者

彫 月 麕他日 彳名

◯地域支援

＊センター公開講座　（対面開催）

第１回　　月　日（水）彫：　～彫：　　at とことこ

「発達特性のある子どもの育て方　～うまくいくコツとヒント～」

講師　高山　恵子氏　　参加者　　名

第　回　　麕月　彷日（土）彫：　～麕他:　　at 児童センター

「気になる子」それは障害？特性？～「気づく」からこそ「伸ばす喜びへ」～

講師　宮島　祐氏　　参加者　　名

＊幼稚園教諭・保育士研修

麕月　彷日（土）　彫：　～麕約:　　とことこプレイルーム

「ことばの育ちを支援するかかわり」

講師　遠藤　重典氏　　参加者：彫 名

＊きよせ第 麕保育園　保護者　出前講座　　清瀬第 麕保育園

彷月　彷日（土）　彷:　～彫：　　参加者：他名

講師　岩澤　寿美子

＊中清戸保育園　教員向け　出前講座　　中清戸保育園

彷月　日（月）　彫：彳～麕約:　　参加者：麕他名

講師　伊藤　真花

＊きよせ第　保育園　保護者　出前講座　　清瀬第　保育園

麕月　麕日（火）　彫：　～彫彳:　　参加者：麕約名

講師　伊藤　真花

＊きよせ幼稚園　教員向け　出前講座　　きよせ幼稚園

月　麕日（水）　彫：　～彫：　　参加者：　名

講師　西村　和久

＊障害のあるお子さんがいる家族支援　　ころぽっくる

　　月　日（木）　　：　～　　参加者：名

　　講師　岩澤　寿美子

＊巡回

保育所・幼稚園への巡回相談支援では、訪問前に先生方に記入・提出していただくシートに関してはより簡単ではあるが中身の濃い支援シートの工夫をした。

・保育所　のべ　園　　名

・幼稚園　のべ　園　　名

○児童発達支援事業（通園）

相談支援を入口にして小集団での療育が適している　名の利用があった。近年の傾向として並行利用（所属園に通いながら週に何日か児童発達支援を利用）がほとんどである。所属園との連携を丁寧にすることが利用児にとって小グループでの経験を所属園に汎化する糸口となると考えている。保護者の承諾はもちろん、所属園の訪問や連携の受け入れはスムーズではあるが、担当児が園生活を送っている時にはスタッフも療育対応中であり電話での連携にとどまることも少なくなかった。

集団としての年間計画、月間計画、週間計画それぞれの連動はもちろん個別支援計画とどう連動させていくかを今まで以上に意識した　年であった。そのためには職員の専門性を活かした組み方、グループとしての曜日ごとの凝集性をどう育てていくか、等の工夫をおこなった。

園との連携日を設けたことでセンター職員にとっては所属先での困難感の理解、園の先生方にとっては、こんなことにも興味が持てる、こんな誘い方で参加に…といったように大きな集団では見られない児の様子をお伝えできる場となり。双方にとって児の理解を深め、児への関わりの厚みのある工夫につながった。

２）実施状況

※別紙添付

２．月間・年間行事等実施状況

※別紙添付

３．職員体制

※別紙組織図添付

４．職員研修

１） 法人内研修

センター内研修（相談支援員）　彳回

センター内研修（ケース検討会議/相談支援員）　　２回/月

法人職員研修　　月　鼕日　彷名

２） 外部研修

月	日	研修名	開催場所	人数
5	22	熱中症研修	WEB	2
	28	熱中症対策訓練	清瀬小学校	2
6	4	プール事故防止講習	WEB	1
	6	学校公開	清瀬特別支援学校	1
	30	第７回公開シンポジウム　災害福祉の現状と課題 ～能登半島地震から首都直下地震、南海トラフ地震を見越して～	WEB	1
8	27	アウトリーチ担当者研修会	分局教育センター	1
9	2	令和６年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修のｅラーニング受講	公益財団法人東京都福祉保健財団人材養成部	1
	12	令和６年度「ストレス解消！楽しい子育て応援講座」	発達障害総合支援センター	1
	13	東京学芸大学附属特別支援学校公開講座	東京学芸大学附属特別支援学校	3
1	3	令和６年度「ストレス解消！楽しい子育て応援講座	発達障害総合支援センター	1
1	10 .11	巡回支援専門員研修会 WEB	国立障害者リハビリテーションセンター学院	1
1	5	第３回メンタルヘルス研修 WEB	東京都福祉保健財団	1
	6	弁護士研修 WEB		1
	7	楽しい子育て応援講座	埼玉県発達障害総合	1

			支援センター	
	11	虐待防止研修	清瀬市役所	1
	29	会計研修 WEB	厚生労働省	1
1	12、13	令和６年度 東京都サービス管理責任者実践研修及び児童発達支援管理責任者実践研修 WEB	公益財団法人　総合健康推進財団	1
	19	楽しい子育て応援講座	埼玉県発達障害総合支援センター	1
1	17	人材管理研修	飯田橋レインボービル	1
	22	人材管理研修	飯田橋レインボービル	1
	24	スキルアップ研修	高田馬場ワイム貸会議室	1
	27	令和 6 年度集団指導 WEB	東京都福祉局	2
2	7	おおらか学園研修	おおらか学園	1
	12	第 2 回自閉スペクトラム症子育て支援セミナー	WEB	1
	12、13	児童発達支援管理責任者実践研修	戸山サンライズ	1
	17	スキルアップ研修	御茶ノ水ワイム貸会議室	1

５．実習生・見学者等の受入れ

㈱ 実習生　（社会事業大学　学生）
　月～９月　２０日間×２名

）職場体験（中学生）　今年度なし

）インターンシップ、職場体験、採用面接
　４月～１月　　１８名

㔌 見学者

柏市保育士　　１名

６．施設整備等

１）施設整備（建物改修含む）

見守りカメラ一式	¥彷 ，
AED　ベネハート	￥　彏　ㇴ
ホワイトボード	￥　ㇴ．　(@祂.礽　×㔌

２）備品等購入

ドラム式洗濯乾燥機	￥彏 ㇶ
田中ビネーVI知能検査一式	￥彏礽.
PC　台	￥ㇴ ㇶㇶ　（@彏ㇶㇶ.　× ）
MAXHAB	￥彏ㇴ彏

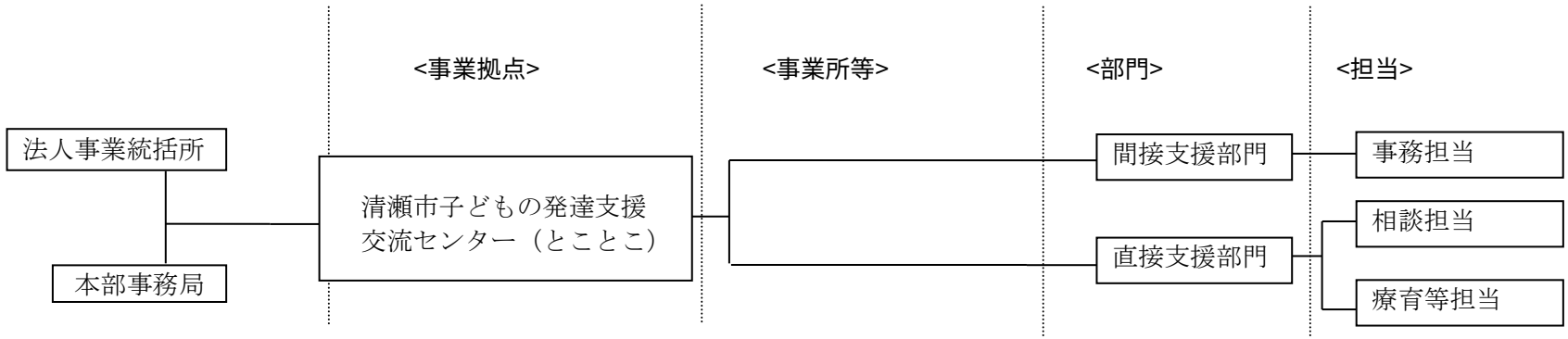
別　紙(事業報告書関係)

年 間 行 事 等 実 施 状 況

項目／月	行事				職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日 回数	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	件	内容
4月				お誕生会		通園スタッフ会議（毎週火） 相談スタッフ会議（1回/月） ケース会義（2回/月） 運営会議（第4月） 医療相談（1回/月）						
5月	1回 1回 1回	1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr.	29	保護者交流会	25	同上 勉強会（外部講師）					11 1	巡回訪問 支援会議
6月	2回 2回 1回	1年生Gr 5年生Gr. 母子Gr.				同上	22	避難訓練			7 3	巡回訪問 支援会議

7月	2回 2回 1回	センター公開講座 1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr.		通園ﾌﾟｰﾙ活動開始 通園保護者会		同　　上					1 4	巡回訪問 支援会議
8月	1回 1回 1回 1回 1回	1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr. 吃音Gr. 昨年5年生Gr.同窓会			2	同　　上 勉強会（外部講師）		WEB171 利用訓練 防火訓練			1 14	巡回訪問 支援会議
9月	2回 1回 1回 2回	母子Gr. 1年生Gr. 5年生Gr. ペアレントGr.		通園ﾌﾟｰﾙ活動終了		同　　上		WEB171 利用訓練 防火訓練		生活習慣病等 職員健康診断	9 9	巡回訪問 支援会議
霙 月	2回 2回 2回	1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr.				同　　上					6 9	巡回訪問 支援会議

	1回 1回	ペアレント Gr. 昨年　年生 Gr.同窓会 保護者向け研修										
11月	2回 2回 1回 1回	1年生Gr. 衍年生 Gr. 母子 Gr ペアレント Gr.		とこﾘﾝﾋﾟｯｸ週間 （分散開催） 通園保護者会 （分散開催） 通園ペアレントグループ	9	同　上 勉強会（外部講師）					7 3	巡回訪問 支援会議
12月	2回 1回 1回 1回	1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr. ペアレント Gr.		クリスマス会 通園ペアレントグループ				防災訓練			4 1	巡回訪問 支援会議
1月	1回 1回 1回	1年生Gr. 5年生Gr. 母子Gr.			29	同　上 勉強会（外部講師）		嘔吐排泄物処理方法訓練			9 5	巡回訪問 支援会議

２月		母子Gr. 1年生Gr. ㌘年生 Gr. センター公開講座 WEB 開催	8	通園まめまき 通園保護者会		同　上					7 4	巡回訪問 支援会議
３月		センター公開講座		お別れ会	1 15	同　上 全体職員研修 臨時運営会議 新人研修 全体職員研修（WEB）		避難訓練 （地震火災想定）			0 2	運営協議会 巡回訪問 支援会議

組織図(清瀬市子どもの発達支援交流センター（とことこ）)